

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	担当	
履修学年	2年	単位数	3	履修区分	普通科理系
教科書	『図説日本史通覧』(帝国書院) 『新日本史研究ノート』(啓隆社)				

1 学習目標

「歴史総合」で学んだことを基に、我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりをふまえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養うこと

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観念の趣旨
a	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
b	思考・表現・判断	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
c	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 全体計画

期	月	内容のまとめ	単元(題材)	項目(学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
前期	4	第1編 先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化	第2章 歴史資料と先史・古代の展望	○	○	○	a 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 ノート提出 リフレクション	
	5									
	6									
	前期中間考査									
	6	第2編 中世の日本と世界	第1章 中世社会の成立	第2章 歴史資料と中世の展望	○	○	○	a 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 ノート提出 リフレクション	
	5									
9										
前期末考査										
後期	9	第3編 近世の日本と世界	第1章 近世社会の形成	第2章 歴史資料と近世の展望	○	○	○	a 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 ノート提出 リフレクション	
	5									
	11									
	後期中間考査									
	11	第4編 近現代の地域・日本と世界	【修学旅行調べ学習】		○	○	○	a 「現代日本がかかえている課題とは何だろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 b 「現代日本がかかえている課題はどのように生み出され、人々はそのような課題とどのように向き合ってきたのだろうか」などの課題について、国民の生活や地域社会の変化などに着目して考察し、その結果を表現している。 c これまでの学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	レポート 発表 小テスト 授業態度 ノート提出 リフレクション	
	5									
3										
後期末考査										

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	30	35	30	25
b	40	40	40	45
c	30	25	30	30
計	100	100	100	100

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- 12月の修学旅行に備えて、日本の伝統文化について興味関心をもってグループで調べ学習ができるようにする。
- 読む力を養うとともに歴史的思考力を養うため、史料の読み取りやペアワークを実施する。
- 授業はスライドを使って進めるため、ノートに自分でポイントをまとめる作業を課す。
- 現代の日本社会が抱える諸課題について考えさせ、3年時の政治経済学習につなげる。